

第 42 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2017. 12. 7 木村亜希子

『ルパフィン錠 10m g』

田辺三菱製薬株式会社

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢先生、内科職員さん

熊山ともみ、空田さやか、薦田麻莉子、大森彩可、木村亜希子

アレルギー性疾患治療薬は数多くあるが、まだまだ納得のいく効果にたどりつけていない患者さんは多い。

今回は 11/27 に発売されたルパフィンについて勉強会を行った。

<効能・効果>

アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎・皮膚そう痒症）に伴うそう痒。

<用法・用量>

通常、12 歳以上の小児及び成人にはルパタジンとして 1 日 10m g を 1 日 1 回経口投与する。なお、症状に応じて、ルパタジンとして 1 日 20m g に増量できる。

<特徴>

・抗ヒスタミン作用と、抗 P A F（血小板活性化因子）作用を併せ持ち、遅効性アレルギー反応に優位に効果を発揮する。

・ T max が 0. 91hr と早く、5 日連続服用で T1/2 が 20. 65hr と長続きする。

<他剤との比較>

・薬価 69. 40～138. 80 円/日

・タリオン：92. 80 円/日、ザイザル 96. 40～192. 80 円/日

<注意>

・ C Y P 3 A 4 での代謝経路を持つため、グレープフルーツジュース・エリスロシン・クラリスロマイシン等との併用、アルコールとの併用に注意が必要。

・眠気の副作用が 9. 3% と高めなので、車の運転等に注意が必要。

<考察>

・骨格がクラリチンベースに作られていることと、CYP3A4での代謝を受けた後、デスロラタジン（デザレックス）になることから、クラリチン・デザレックスで副作用歴のある患者さんには疑義照会が必要と思われる。この点について添付文章上での注意喚起がないため、特に薬局側での注意が必要と考えられる。

・同じCYP3A4で代謝されるクラリスロマイシン・エリスロシンは併用薬として重なる可能性が多くあり、その確認には気をつけたいところである。

・薬の併用だけでなく、アルコール・グレープフルーツジュースなどの嗜好品での作用変化は、薬剤師側からの積極的な情報確認がないと気づきにくいいため、見落としのないようにしたい。

・薬価で比較すると値段は高くないため、今までの薬で効果不十分な患者さんでも挑戦しやすい一面がある。